

事業種類	治山・砂防		事業名	砂防			
市町村名	小谷村	ふりがな 箇所名	ふかはら 深原		工 期 (年度)	当 初	H12 ~ H14
当初事業費	202,000 千円		費 用 対 果 効 果	当初	—	実 績	H12 ~ H19
最終事業費	653,753 千円			評価時	—		完了後経過年数
事業化の目的	濁沢はH7にJR大糸線が2年半不通となる土石流災害を引起こしており、その後もH10～H13に土石流が発生している。本事業は土石流対策を行うことにより、地域の方々の安全・安心を確保するものである。						
事業等経過	当初計画内容	既設えん堤スリット化2基、溪流保全工A=160m ² 、鋼製枠保護工1基					
	最終事業内容	既設えん堤スリット化3基、溪流保全工A=941m ² 、既設えん堤嵩上げ1基、既設床固嵩上工1基、法面工A=2,500m ²					
	変更理由	平成12年及び13年に土石流が発生し上流域の荒廃が拡大したため、工期を延長して工種を追加し事業費が増となった。					
評 価 項 目							ランク
事業効果の発現状況(A:目的を超えた達成 B:達成した C:概ね達成 D:達成したとはいえない)							B
事業完了後、土石流を捕捉し、下流の保全対象の被害を未然に防いだ。							
事業実施に伴う自然環境の変化(A:環境がよくなった B:大きな影響なし C:影響が大きい)							B
工事に伴う一時的な環境変化はあったものの、既設えん堤の改良等、環境への影響の少ない工法を採用しているため、影響は最小限に留められた。							
施設の維持管理状況(A:地域の人たちの参加あり B:適切にされている C:やや不十分 D:適切にされていない)							B
県で必要な維持管理を行っている。							
地域住民等の評価(A:評価が高い B:中程度の評価 C:評価が低い)							A
事業の必要性、重要性、満足度について、概ね9割以上の方から評価されている。							
改善措置の必要性(A:改善の必要なし B:小規模な改善が必要 C:大規模な改善が必要)							A
当事業では改善措置の必要性はない。							
事業の主たる目的以外で地域社会への貢献状況(A:貢献度が高い B:貢献している —:特になし)							—
特になし。							
部 意 見	事業の実施により地域の安全・安心の確保が図られた。アンケート結果からも地域の評価は高く、事業効果は高いと思われる。			行政改革 課 意 見	土石流に対する安全性の向上が図られ、一定の効果が認められる。		
今後の取組及び同種事業の計画・調査のあり方や評価手法の見直し等							
事業計画の段階で地域と連携し、事業を進めていく必要がある。また、ハード対策と併せ避難方法や経路の確認、土砂災害の備え等のソフト対策の充実を図るとともに、継続した土砂災害に対する啓発活動を行っていく必要がある。							

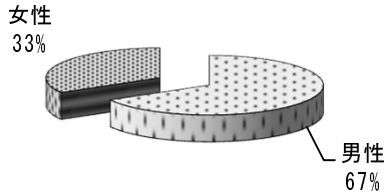
アンケートの方法及び対象

・当該事業の濁沢沿線の深原区の全世帯を対象に地区連絡員を通じて、アンケート用紙を各戸に配布、回収したものを集計した。

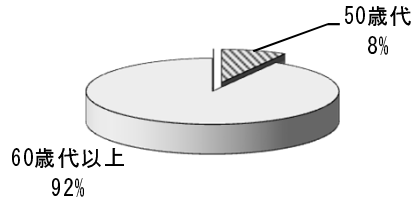
配布数	25
回収数	24
回収率	96 % (男性 67% 女性 33%)

アンケート結果

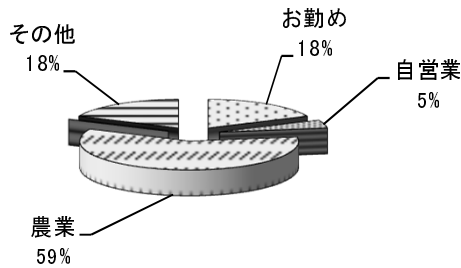
問1 性別



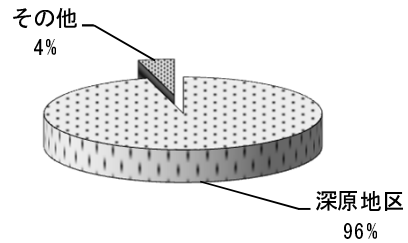
問2 年齢



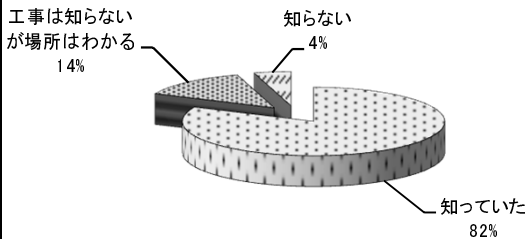
問3 職業別



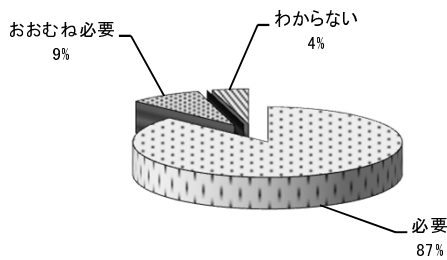
問4 お住まい



問5 事業の認知度について



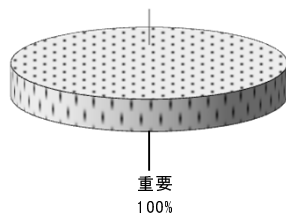
問6-1 事業の必要性について



問6-2 主な理由

- ・ 崩れを止めるため。
- ・ 土砂の流出止めに有効。
- ・ 濁沢にはダム工が適切と考える。
- ・ 土砂崩落が少しは遅れると思う。
- ・ J R大糸線を守るために必要。
- ・ 大雨が降ると毎回くらい、土砂の流出がある。

問7-1 地域社会にとっての重要性について

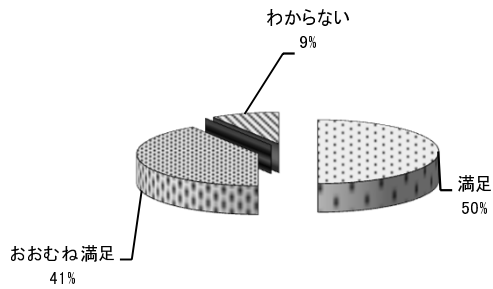


問7-2 主な理由

- ・ きわめて重要と思う。
- ・ 川の名のとおり雨天時は濁りがひどい。土砂流出を抑えている。
- ・ 地すべり等起きやすい地質のため工事は必要。
- ・ 深原地区及び下流の地域を守るために必要。
- ・ 地域保全の面からの必要。

アンケート結果

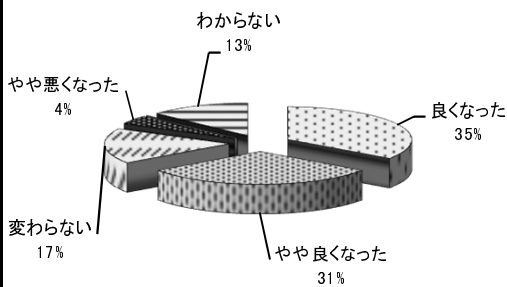
問 8-1 事業の完成結果について



問 8-2 主な理由

- ・ ありがたいことである。
- ・ 効果を信じている。
- ・ 現在上部に出来ているダムは小さすぎる。もっと大きなダムが必要。

問 9-1 自然環境の変化について



問 9-2 主な理由

- ・ 現況では特に変化はない。
- ・ 昔のことはわからないが、だいぶよくなってきている。
- ・ 昔、私たちが子供の頃は、川がきれいに澄んでいて岩魚などの魚が多くいた川で水泳などする川だったが、昭和30年の土石流による災害で濁沢の状況は一変した。
- ・ 当地区では生活用水ですので、何とかいまま少し濁りのない川であってほしい。

問 10 その他ご意見・ご要望

- ・ 濁沢は大変な暴れ川で、たくさんの工事を行っていただき、ありがたく感謝している。
- ・ 下流域の落ち着きは安心のもと。
- ・ 土石流の発生が抑制されたと思う。事業の継続を切望する。
- ・ この後も継続して土砂流出防止工事を実施していただきたい。
- ・ 上部に大きいダムを造ってほしい。
- ・ これからも深原地区の安全のために、工事をお願いしたい。
- ・ 平成12年の田中康夫知事の脱ダム宣言には反発したものである。
- ・ 水路に土砂が入って困る。防火水槽にも土砂が入り、管理が大変。
- ・ 年中、濁っていて、もしも火災があると、泥水の時などうまく使えないことが心配。
- ・ 取付道路の整備、作業用道路の整備、村道の整備をお願いしたい。
- ・ 既存堰堤の土砂の撤収を早急をお願いします。

施工前写真



施工後(現況)写真

